

ベトナムハノイ近郊における土壌媒介寄生虫の伝播疫学研究：野菜および手指爪垢の寄生虫卵による汚染状況

藤巻 康教¹ HOA NGUYEN THI VIET² 野田 伸一³ 宇賀 昭二⁴
THUAN LE KHANH² CONG LE DINH² 青木 克己¹ 門司 和彦¹

長崎大学 熱帯医学研究所 寄生行動制御分野¹

国立マラリア・寄生虫・昆虫研究所、ハノイ、ベトナム² 鹿児島大学 多島圏研究センター³

神戸大学 医学部 保健学科 病態解析学教室⁴

土壌媒介寄生虫病の対策を考える上で、回虫卵や鞭虫卵などの虫卵による環境汚染の把握は重要である。我々は現在、ベトナムハノイ近郊の村で、土壌媒介寄生虫病の対策研究を開始し、昨年の本大会では土壌、埃の虫卵汚染状況を報告した。今回は野菜および手指・爪垢の虫卵汚染状況を報告する。対象：野菜は調査村の唯一のマーケットで売られているもので、「生で食べる」野菜を中心に葉菜9種、根菜4種、果菜2種を選択した。手指および爪垢のサンプルは33世帯の住民と小中学生から採集した。検査は雨期（6-9月）と乾期（12-2月）の2回実施した。方法：各サンプルから虫卵を0.5% Tween20液にて分離した後、比重1.4の飽和硝酸ナトリウム液による浮遊法を用いて、虫卵を回収し、検鏡した。結果：野菜から6種類、手指爪から7種類の虫卵が検出され、その検出率に検査時期による差は認められなかった。野菜は1年間に計317サンプルを検査し、25.9%に何らかの虫卵が検出された。野菜のタイプ別では葉菜が30.5%（73/239）と最も汚染度が高く、次いで根菜16.7%（8/48）、果菜3.3%（1/30）であった。最も高率に検出された虫卵は回虫卵で20.5%、次いで鞭虫卵7.9%であった。虫卵陽性野菜の検出虫卵数は、回虫卵は雨期で平均2.7個（1-30個）、乾期で平均7.0個（1-67個）、鞭虫卵で同様に2.0個（1-6個）、乾期で平均2.2個（1-10個）であった。手指および爪垢は1年間に延べ508人（住民238名、小中学生270名）計832サンプル（手指506、爪垢326）を検査し、延べ43人（8.5%）に虫卵が検出された。部位別では手指が7.5%、爪垢が3.1%虫卵に汚染されていた。最も高率に検出された虫卵は蟻虫卵で3.5%、次いで回虫卵1.0%、鞭虫卵0.6%であった。陽性者の検出虫卵数は、回虫・鞭虫卵は1個、蟻虫卵は1-15個であった。まとめ：野菜は1年中栽培されているものが多く、雨期乾期に問わず、比較的高率に寄生虫卵に汚染されており、また高率に「生で食べる」ことから、回虫・鞭虫の感染ルートの一つとしてこれら野菜の生食が考えられる。また手指および爪垢からの回虫・鞭虫感染の可能性はあるが低いと思われる。

Study on transmission and infection of soil-transmitted nematode in the suburb of Hanoi, Vietnam: contamination of vegetables and fingers and nail dirts with parasite eggs

YASUNORI FUJIMAKI

Dept of Parasitology, Institute of Tropical Medicine, Nagasaki University, Japan

